

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	フィンワーク実習	
科目基礎情報							
開設学科	スポーツ健康学科		コース名	スポーツビジネスコース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実技			
教科書/教材	必要に応じて配布						
担当教員情報							
担当教員	平川大輔			実務経験の有無・職種	有・ダイビングインストラクター		
学習目的							
ダイビングは水中という特殊環境下で行うスポーツです。水中活動において必要な基礎知識・基礎実技を学ぶだけではなく、ダイビングは自己管理、責任感、他人を思い遣る気持ちが必要です。【ルールを学び守る】社会的・知的・対人的な基礎能力を引き上げる。【コミュニケーション】伝える・思いやる・気遣う・力を合わせる。【自分自身をコントロールする】考えを巡らす・見つけ出す・行動する。【サプライズ】感動・可能性の広がり・自分自身の目標の設定など、フィンワーク・ダイビング実習は人間観を養うプログラムが満載です。『専門性』+『人間力』を身につける事ができます。また、この資格は世界中で通用するダイビング資格です。							
到達目標							
(オープンウォーターダイバー(初級))取得可能な知識・技術を身につけ、初級ダイビング実習(海洋)での合格を目指します。基礎知識・基礎潜水技術を学ぶ事により、安全潜水が実施できるように実習を行います。また、集団行動をすることにより、学生同士の連帯感や自己責任を果たすことによって人間力の向上を図り、社会人として必要な知識を習得する。							
教育方法等							
授業概要	ダイビング(水中活動)を安全に楽しむために必要な基礎知識・基礎実技を講義とプールにて学ぶ。練習した技術を海洋にて実施し、初級ダイビング資格認定を行います。						
注意点	・ 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 ・ 講義は学科試験がありますので、しっかりと理解しわからないポイントがあればどんどん質問して理解を深めてください。実技は、気温・プール水温が低い環境下で実施するケースがあります。体調の変化に注意し、無理せず授業を受けてください。 ・ ダイビング器材は大切に使用してください。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	前期学科試験・実技試験にて評価します				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	50%	積極的な実習参加度、受講態度によって評価します				
授業計画（1回～15回）							
回				各回の到達目標			
1回	フィンワーク授業の流れ、初級、中級実習について			教室にて、フィンワーク・ダイビング授業について理解する			
2回	ダイビングの楽しみ方・条件、バディシステムなど			特殊環境下でのコミュニケーション方法の習得			
3回	水の性質・海の基礎知識			海の基礎知識の理解する			
4回	スキンドайビングの基礎器材・種類、スキーズについて			トラブル解消法を理解する			
5回	呼吸について、スクーパーダイビング器材・種類			呼吸の仕組みを理解し、水中での効率の良い呼吸法を理解する			
6回	ボイルの法則と肺の障害、空気消費量と潜水時間			潜水病についてと予防法を理解する			
7回	シャルルの法則、ダルトンの法則と潜水障害など			物理的な法則による潜水障害を理解し予防法を理解する			
8回	ヘンリーの法則と減圧症、パニックとセルフレスキューなど			潜水障害の理解と予防法、レスキュー方法を理解する			
9回	器材について、バディシステム、フィンキック法			プールにて実技練習 器材の扱い方、バディ（相棒）との協力の仕方を習得する			
10回	スノーケル呼吸法、水面遊泳法、ブル回避法など			水面での呼吸法、水がスノーケルに入った時の呼吸確保の練習。フィンでの泳ぎ方を習得する			

1 1 回	ウエイトと浮力調整、水面遊泳、水面休息など	水面遊泳に必要な技術と休息方法を習得する
1 2 回	ヘッドファースト、水面休息法	スキンドайビング（息をとめて潜る（素潜り）の方法）を習得する
1 3 回	エキジット法、平行潜水、平行潜水マスク拾い	器材を装備してのプール・海洋での入水・出水法、潜水方法を習得する
1 4 回	水面遊泳、片足フィンキック遊泳、マスクなし遊泳	遊泳中のトラブル回避方法、パニック回避方法を習得する
1 5 回	実技まとめ	今まで習得した技術の確認と実技試験の実施します